

相良地区合同訓練

令和 2年 12月 1日

- 日 時：令和2年12月21日（土）13:00～16:00
- 場 所：相良サンビーチ
- 参加者：シーバード相良(4名)、相良救難所(2名)、相良ライフセービングクラブ(2名)、
牧之原市役所(2名)、牧之原消防署(8名)、吉田消防署(9名)、WRMA 静岡地区(1名)、
御前崎渚の交番(1名)、その他関係者(5名)

11月21日（土）、相良サンビーチにおいて相良地区の合同レスキュー練習会を実施するとのことで、こちらへの協力要請があったため、御前崎渚の交番として参加してきた。

今回の訓練は、静岡市消防局に所属する牧之原消防署および吉田消防署が今後、水難救助に対する資機材導入が控えているとのことで、民間団体との協力体制を強化するべく計画されたものである。また、今回、水上オートバイでのレスキュー手法についても消防隊員のみなさんに体験していただき、有事の際も互いに連携が図れるよう準備する意味も含んでおり、シーバード相良艇およびシーバード御前崎艇の2艇体制での訓練実施となった。

まずは水上オートバイの構造についてウォーターリスクマネジメント協会（WRMA）の理事でもあり、PWCレスキュー静岡連合体（Union of Shizuoka PWC Rescue）の代表でもある野口氏より解説があり、さらに水上オートバイレスキューの利点、実際の救助法などについても陸上でレクチャーがあった。その後、実際に海面でそれらレスキュー手法を体験していただき、どのような方法で要救助者をピックアップし、ビーチへ搬送するのか、また救急隊へ引き継ぐのかを一連の流れで見ていただいた。

参加されたみなさんは、さすが普段から現場を経験している方々だけあって、大きな掛け声とテキパキとした無駄のない動きでレクチャーから体験までをされていた。とはいえ、慣れない水上オートバイレスキューに苦戦されている方も多く、水難救助の難しさを改めて感じておられる様子だった。水上オートバイレスキューの後は相良ライフセービングクラブメンバーによるレスキューボードレスキューでのレスキュー手法について、こちらでもレクチャーを受けた後に体験をされていた。近々、レスキューボードが各署に導入されるとのことで、みなさん真剣に使用方法について学ばれていた。

